取扱説明書

FOMA® F704i

'07.7

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA F704i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。
FOMA F704iは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA 端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA 端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSA セキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1.「安全上のご注意」を確認しましょう→P12
2. 電池パックをセットし、充電しましょう→P44
3. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう→P49、P52
4. 本体のキーなどの役割を確認しましょう→P28
5. 画面に表示されるマーク（アイコン）の意味を確認しましょう→P31
6. メニューの操作方法を確認しましょう→P38
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→P54、P69

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

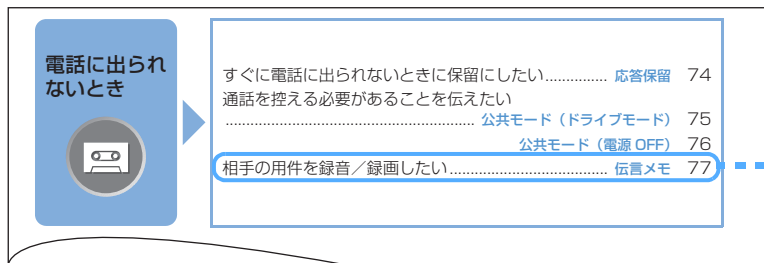
知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

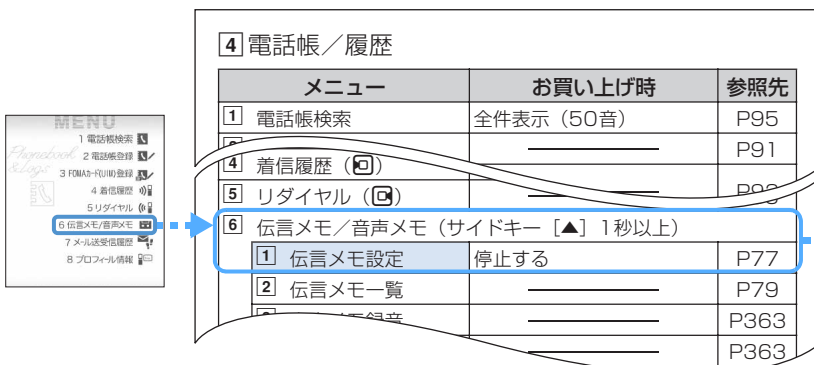
- この『FOMA F704i取扱説明書』の本文中においては、「FOMA F704i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要です。
  microSDメモリーカードについて→P305
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、FOMA端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせて初期設定されています。
  本書では、主にコーディネイト／きせかえの設定がホワイトの場合で説明しています。→P118
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作を表しています。
  端末暗証番号→P142
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

「伝言メモ」を例に記載ページを探す方法を説明します。

かんたん検索から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が目的別に分類されています。

メニュー一覧から探すとき

FOMA端末の画面に表示される言葉から探すことができます。

表紙インデックスから探すとき

表紙→章扉→機能の説明ページという順でインデックスを頼りに探すことができます。
章扉には詳しい目次も掲載されています。

操作手順とキーの表記

● 本書の操作の説明では、キーを押す動作をイラストで表現しています。なお、キーイラストは次のように省略して表記しています。

実際のキー	本書での表記
1 .,/@	1

本書で使用しているキーのイラスト→P28「各部の名称と機能」

● 操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

表記の例	意　味
MENU（1秒以上）	MENUを1秒以上押し続ける。
MENU ▶ 8 1 7 ▶ 設定する項目を選択 ▶ 1 〜 5	待受画面でMENUを押した後、8 1 7を順番に押す。続けて、設定する項目にカーソルを合わせて●を押し、設定したい番号に対応する1から5のいずれかのダイヤルキーを押す。

● 基本的な操作手順において▲▼◀▶（マルチカーソルキー）で項目にカーソルを合わせ、●（決定キー）を押して項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。また、画面の入力欄に文字を入力する操作においては、最後に●［確定］を押す操作を省略しています。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・ランプ色・振動を変える

画面表示を変える

メールを使いこなす

カメラを使いこなす

安心して使うために

こんなこともできます

※1 有料サービスです。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

● よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しています。→P474

目次

FOMA F704iの主な機能

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！	iモードは、iモード端末のディスプレイを利用して、iモードのサイト（番組）やiモード対応のインターネットホームページから便利な情報を利用したり、手軽にメールをやりとりしたりできるオンラインサービスです。

F704iの主な特徴

iモードメール、デコメ絵文字

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトまたは最大10個のファイル（画像、トルカ、PDFなど）を添付することができます。また、デコメールやデコメ絵文字にも対応しているので、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたりすることができ、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。 →P214

着うたフル®

音楽配信サイトから楽曲を1曲まるごと取得し、再生や着信音への設定ができます。

※「着うたフル」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

国際ローミング

日本国内でお使いのFOMA端末、電話番号、メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3Gエリアのみ対応）。音声電話、テレビ電話、iモード、iモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。 →P400

メガiアプリ、iアプリDX

iアプリをサイトからダウンロードすると、ゲームを楽しんだり、自動的に株価や天気情報などを更新させたりできるようになります。大容量のメガiアプリ対応なので、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。
さらにiアプリDXでは、電話帳やメールなどFOMA端末内の情報と連動することで、iアプリの楽しみかたが広がります。 →P256

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードすると、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のiアプリをプリインストールしているので、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。また、機種変更などのFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「iCお引っこしサービス」にも対応しています。 →P274
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。 →P276

あんしん設定

大切な個人情報を守ったり、第三者によるFOMA端末の使用を防いだりする各種のロック機能を備えています。 →P142

おまかせロック※

おまかせロックは、ご契約者本人からのお申し出によりFOMA端末にロックをかけるサービスです。ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかりますのでご了承ください。 →P146

※ 有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。お問い合わせは取扱説明書裏面をご覧ください。

電話帳お預かりサービス※

FOMA端末に保存している電話帳やメール、静止画をお預かりセンターに保存し、紛失時などに保存したデータをFOMA端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンで編集・管理ができ、編集したデータをFOMA端末に反映できます。 →P156

※ お申し込みが必要な有料サービスです。
ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』、お問い合わせは取扱説明書裏面をご覧ください。

豊富なネットワークサービス

次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。 →P386

- 留守番電話サービス（有料）※
- キャッチホン（有料）※
- 転送でんわサービス（無料）※
- 番号通知お願いサービス（無料）
- 迷惑電話ストップサービス（無料）※
- 英語ガイダンス（無料）
- デュアルネットワークサービス（有料）※
- マルチナンバー（有料）※

※ お申し込みが必要です。

F704iの多彩な機能

防水性能

外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX7の防水性能を有しております。 →P20
雨の中で通話やメールを送受信したり、お風呂場やプールサイドで使用したりできます。汚れた場合には、水道水で手洗いすることができます。

充実のカメラ・ビデオ機能

アウトカメラには有効画素数130万画素（記録画素数120万画素）、高感度CMOSカメラを搭載。被写体を最大16倍まで拡大できるリニアズーム機能を持ち、最大1.2Mピクセル（960×1280ドット）の静止画を撮影できます。接写やフレーム付き撮影、連続撮影、パノラマ撮影など、さまざまな撮影方法が選択できます。 →P164
1秒間に30コマの高画質撮影ができるビデオ機能を備えています。 →P169
JANコード、QRコードなどを読み取ることができるバーコードリーダーの機能を備えています。 →P179

赤外線通信とiC通信

赤外線通信では、赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。また、iC通信では、FeliCaマークとiC通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話などとデータの送受信ができます。
赤外線通信やiC通信に対応したｉアプリを利用することも可能です。 →P323

パスワードマネージャー

IDやパスワード情報を一元管理できる機能です。認証が必要なサイトやホームページでは、パスワードマネージャーを呼び出して該当するIDやパスワードを選択するだけの簡単な操作で入力ができます。 →P378、P381

お知らせタイマー

1～60分のタイマーを設定すると、残り時間をカウントダウンします。設定した時間になると、音や表示画像で知らせます。 →P347

ヒカリセラピー

50種類のイルミネーションカラーを搭載しています。色によるセラピー効果がわかるガイド表示付きなので、体調や気分に合わせてカラーを選ぶことができます。 →P134

ワンタッチアラームとイミテーションコール

ワンタッチアラーム設定を利用すると、簡単なサイドキー操作で大音量のアラームを鳴らして、周囲に自分の居場所を知らせることができます。 →P350
イミテーションコールは、誰かから電話がかかってきたように動作し、通話中を装うことのできる機能です。音声ガイダンスが流れるので、会話もスムーズに行えます。 →P357

本格的な辞典

新語、カタカナ語、慣用句などから使用頻度の高い現代語約4万7100語句を収録した「明鏡モバイル国語辞典」、現代人に必要な合計約10万1500語句を収録した「Gモバイル和英辞典」と「Gモバイル英和辞典」。FOMA端末に搭載しているこれら3つの本格的な辞典を利用できます。 →P368

「microSDメモリーカード」対応

FOMA端末内の画像、メロディ、電話帳、メールなどのデータをバックアップできます。 →P310
外部機器で作成した動画（音楽データ含む）をmicroSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます（一部条件下では再生できない場合があります）。 →P439
FOMA端末を、FOMA USB接続ケーブル（別売）でパソコンに接続すれば、FOMA端末に挿入されているmicroSDメモリーカードをパソコンの外部メモリーとして利用できます。 →P316

待受画面新着通知

電話帳に登録している相手やグループごとの新着通知を、画像やワンポイントアニメーション、キャラ電で待受画面に表示できるので、どの相手からの新着情報か待受画面で確認できます。
ワンポイントアニメーションは画像に重ねて表示でき、待受画像とのコーディネイトも楽しめます。 →P136

FOMA F704iを使いこなす！

F704iの優れた機能を実際の画面表示で紹介します。

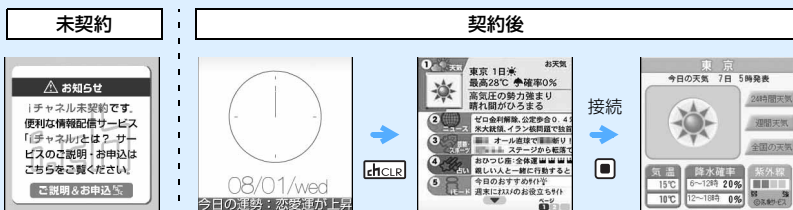
テレビ電話

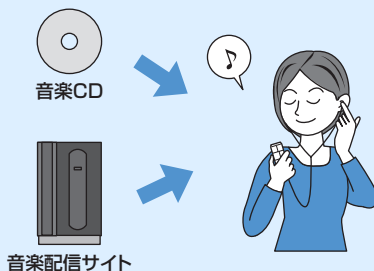
テレビ電話を使えば、離れた場所にいる人とお互いの顔を見ながら話せます。ビジネスではテレビ会議などに、プライベートでは買い物の相談などに、さまざまなシーンでテレビ電話は便利に活用いただけます。
→P54

遠方からテレビ電話で会議に参加

外出先から買い物の相談

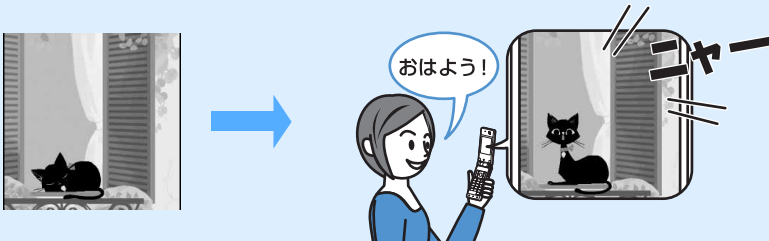
iチャネル

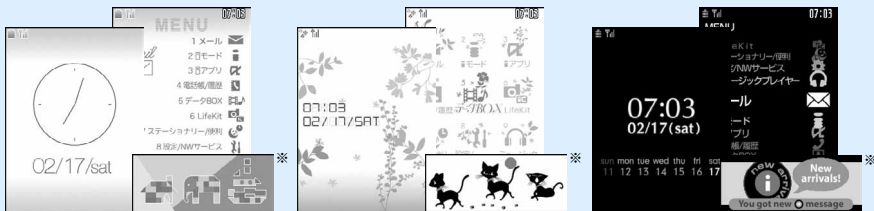
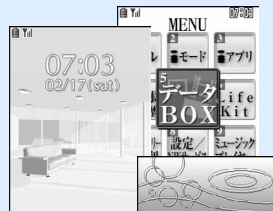
自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。また、iチャネル対応キー（chCLR）を押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することもできます。
→P205

ミュージックプレイヤー

音楽配信サイトからダウンロードした着うたフル®や音楽CDなどからパソコンに取り込んだWindows Media® Audio（WMA）ファイルを、ステレオサウンドで再生できます。バックグラウンド再生にも対応しています。
→P334

着もじ

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て、用件や気持ちなどを事前に知ることができます。 →P62

リラックスモードプラス

調和のとれた音や光、画像でリラックスした雰囲気を演出します。周囲の音や声を感知して変化するイルミネーションや画像を楽しむことができます。
また、カラーセラピー効果のある7つのモードを楽しむこともできます。 →P358

画面や音をコーディネイト

画面を統一感のあるデザインに変更できるコーディネイト／きせかえでは、あらかじめ登録されている5種類に加え、オリジナルのコーディネイトを登録できます。サイトからきせかえツールのコンテンツをダウンロードすれば、待受画像、メニューアイコン、発着信画像、着信音などをまとめて変更できます。また、登録されているコーディネイトを時刻や曜日で変更できるライフスタイル設定も楽しめます。
→P118、P120

ホワイト ※　ゴールド ※　ブラック ※

マゼンタ ※　アドバンストモード ※

※ 新着情報があるときに待受画面に表示されるワンポイントアニメーションです。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

記号	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

記号	内容
指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　F08
卓上ホルダ　F15
FOMA ACアダプタ　01／02
FOMA DCアダプタ　01／02
FOMA 乾電池アダプタ　01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01
FOMA海外兼用ACアダプタ　01
FOMA補助充電アダプタ　01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

警告

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
(ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

自動車などを運転中に使用しないでください。

2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも、自動車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

スピーカーホン機能を動作させて通話する場合や、ワンタッチアラームを使用する場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。

FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。

海外でご使用になると罰せられることがあります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。

液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

誤ってディスプレイ、カメラのレンズを破損したときは、割れたガラスなどにご注意ください。

けがの原因となります。

ディスプレイ、カメラのレンズの表面は、ガラス板上にプラスチックパネルを取り付け、ガラスが飛散しにくい構造になっていますが、万一、切断面などに触れますとけがをすることがあります。

内蔵のカメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。

レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

リアカバーのレバーがLOCK位置にあることを確認してから使用してください。

浸水のおそれがあります。

電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱いについて

警告

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。
また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダ（電池パック充電器）は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ ：AC100V
DCアダプタ
：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ
：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。
また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
破損し、感電や故障の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

車内ホルダは確実に取り付けてください。
急ブレーキなどで機器が外れると、事故や故障の原因となります。

注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面などにご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

 ⚠警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱上の注意について

共通のお願い

● F704iは防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。
- FOMA端末は、外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX7の防水性能を有しておりますが、完全防水というわけではありません。雨の中や水滴がついたままでの電池パックの取り付け／取り外しや、外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップおよびリアカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。また、付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。

● お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

● 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

● エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
- 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

● FOMA 端末に無理な力がかかるような所に置かないでください。
- 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

● FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

● 極端な高温、低温は避けてください。
- 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の所で行ってください。

● 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた所でご使用ください。

● お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような所には入れないでください。
- 故障の原因となります。

● ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
- 故障、破損の原因となります。

● 使用中や充電中、FOMA 端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

● カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

● FOMA 端末を異物のある机上などに置かないでください。
- 破損の原因となります。

● イヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
- ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

● ディスプレイは金属などでこすったり引っかいたりしないでください。
- 傷つくことがあります。

● ディスプレイ面やダイヤルキーのある面に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
- 故障、破損の原因となります。

● 充電端子に水や汚れを付着させないでください。
- 故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

● 電池パックは消耗品です。
- 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

● 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
  - 長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
- 落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、故障取扱窓口までご相談ください。
- 電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。
- 電池残量なしの状態で、電池パックを取り付けたままのFOMA端末を保管・放置しないでください。
  - FOMA端末を長時間放置する場合は、電池パックを外してください。
- 電池パックは、長期間使用しない場合でも6か月に1回は充電してください。
  - 電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温や低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
  - 故障の原因となります。

カメラについて

お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

FeliCaリーダー／ライターについて

- FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘板シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
  技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

防水性能について

F704iは、外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5（旧JIS保護等級5）※1、IPX7（旧JIS保護等級7）※2の防水性能を有しております。

※1 IPX5とは、F704iを設置したターンテーブルを回転させた状態で2.5m～3mの距離から最低3分間12.5L/分の直接噴流をあてた後に、電話機としての機能を有することです。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの所にF704iを静かに沈め、30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することです。

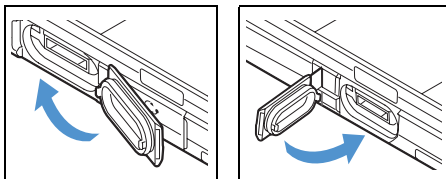
具体的には

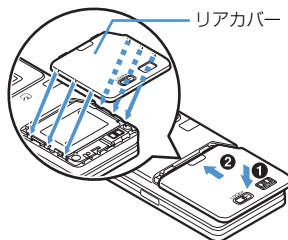
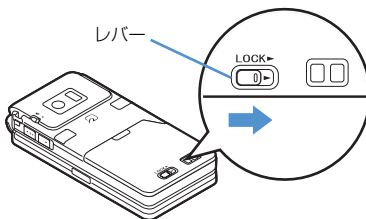
- 雨の中で傘をささずに通話できます（1時間の雨量が20mm程度）。
  - ※ 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップの開閉はしないでください。
- 洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。
  - ※ 洗うときはリアカバーを取り付けてロックした状態で、外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水には浸けないでください。
  - ※ プールの水がかかった場合は、上記の方法で洗い流してください。
  - ※ 水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- お風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。
  - ※ 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  - ※ 水中で使用しないでください。故障の原因となります。

ご使用にあたっての重要事項

防水性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- 外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップ、リアカバーをしっかりと閉じてください。
- キャップやリアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- リアカバーのレバーがLOCK位置にあることを確認してから使用してください。

■ 外部接続端子キャップ・イヤホンマイク端子キャップの閉じかた

■ リアカバーの取り付けかた

① **リアカバーの6箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。**

② **リアカバーのレバーを矢印方向にスライドさせて、ロックします。**

■ 水中でFOMA端末を使用（開閉、キー操作を含む）しないでください。

■ 常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。

〈例〉

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

プール

温泉

砂／泥

防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモショップなどの窓口にお持ちください。

注意事項

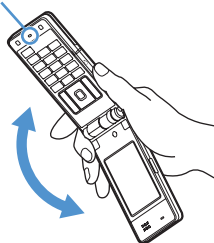
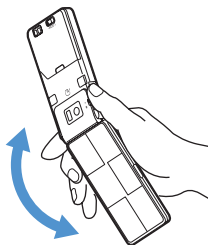
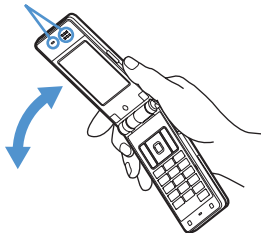
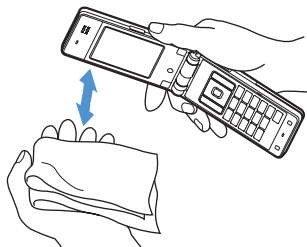
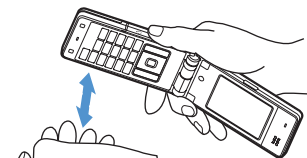
- リアカバーは確実にロックし、外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- 外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップ、またはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップ、内蓋のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を負っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F704iはIPX5の防水性能を有しておりますが、不具合の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 送話口、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 濡れたまま放置しないでください。電源端子がショートするおそれがあります。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 送話口、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。

**実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。
調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。**

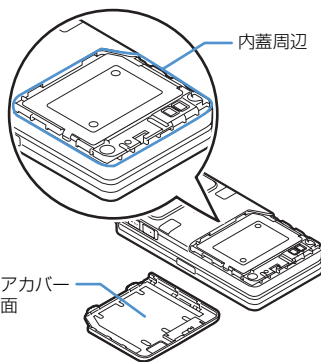
水に濡れたときの水抜きについて

FOMA端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水が後から漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

①FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

②FOMA端末のヒンジ部をしっかりと持ち、約20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

③送話口、受話口、スピーカー、キー、ヒンジ部などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取ってください。

④リアカバーを取り外して、内蓋周辺とリアカバー裏面の水滴を拭き取ってください。拭き取った後にリアカバーを取り付けてロックしてください。

リアカバーの取り外しかた→P44「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」■取り付けかた①

※ 内蓋は絶対に開かないでください。

⑤FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取ってください。

※ 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

※ 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

充電のときには

付属品、オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- FOMA端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合はよく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
  外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。

※ FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。

※ 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

※ ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。火災や感電の原因となります。

※ ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーションメール」「ｉショット」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ショートメール」「着モーション」「デコメール」「Vライブ」「ｉエリア」「おサイフケータイ」「キャラ電」「ｉアプリDX」「ｉチャネル」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「ビジュアルネット」「公共モード」「トルカ」「メッセージF」「iD」「マルチナンバー」「パケ・ホーダイ」「おまかせロック」「電話帳お預かりサービス」「着もじ」「DCMX」「iCお引っこしサービス」「きせかえツール」「OFFICEED」「IMCS」「ｉメロディ」「ファミリーワイドリミット」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iD」ロゴ「WORLD WING」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「Microsoft」、「Windows」、「Windows Vista」、「Windows Media」は、米国「Microsoft Corporation」の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 1996-2007 ACCESS CO.,LTD.
- AdobeおよびAdobe Readerは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
- 本製品は、Adobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™テクノロジーを搭載しています。Adobe、FlashおよびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
  Copyright© 1995 - 2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- miniSD™および mini はSDアソシエーションの商標です。
  （miniSD™メモリーカードをminiSDメモリーカードと表記しています。）
- microSDロゴは商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.

  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International,Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Ltd ©1998-2007よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。symbianおよびSymbian OS はSymbian Ltd. の商標です。
- リュウミンは株式会社モリサワの登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。

- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista™(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 「明鏡モバイル国語辞典」「Gモバイル英和辞典」「Gモバイル和英辞典」は大修館書店編集の著作物です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

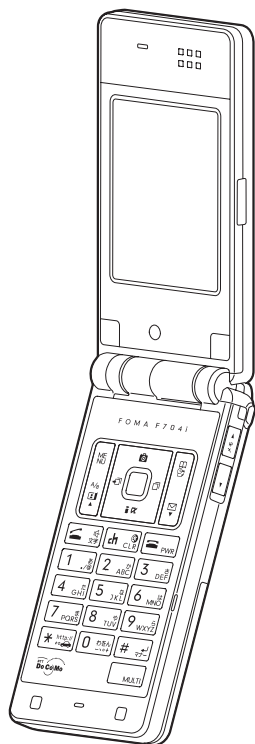
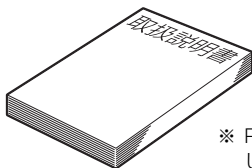
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

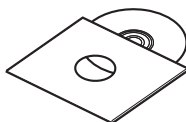
4,901,307	5,504,773	5,109,390
5,535,239	5,267,262	5,600,754
5,416,797	5,490,165	5,101,501
5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109
5,506,865	5,228,054	5,544,196
5,337,338	5,657,420	5,710,784
5,778,338		

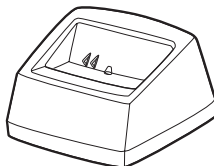
- コンテンツ所有者はWindows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ(WMDRM)を使用して、著作権を含む自身の知的財産権を保護します。このデバイスはWMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護されたコンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に支障を来たした場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをソフトウェアがWMDRMを使用して再生、コピーするための許可を失効させるように要求することができます。失効しても、WMDRMで保護されていないコンテンツは影響を受けません。WMDRMで保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがライセンスに“Revocation List”を含めることに同意したものと見なします。コンテンツ所有者は、コンテンツがアクセスされる時にWMDRMをアップグレードするよう要求することがあります。アップグレードを拒否すると、そのアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスできなくなります。

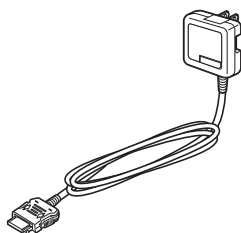
本体付属品および主なオプション品について

＜本体付属品＞

FOMA F704i
（リアカバー F21、保証書含む）

取扱説明書

※ P474にクイックマニュアルを記載しています。

FOMA F704i用CD-ROM

※ PDF版「データ通信マニュアル」および「区点コード一覧」を収録しています。

卓上ホルダ F15（取扱説明書付き）

＜主なオプション品＞

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

電池パック F08
（取扱説明書付き）

その他のオプション品→P438